

「記憶の解凍」 ARアプリ

東京大学大学院 渡邊 英徳 教授は、AI技術を活用してカラー化した“戦前の広島”の白黒写真を、地図・AR（拡張現実）ビューに表示する「記憶の解凍」ARアプリを開発。

アプリを通じて過去の写真と現在の広島の風景と重ね合わせるとき、私たちの目の前には、切り撮られた過去の日々につながる、時の窓が開きます。

（東京大学大学院 プレスリリース） <http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/news/201902019365>

制作チーム	
原案・カラー アプリ作成	渡邊英徳×庭田杏珠
考証協力	濱井徳三 ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会
写真提供	濱井徳三 今中圭介 諏訪了我（浄寶寺） 高橋久 多田良子 本田美和子 広島県立文書館 広島市公文書館 アメリカ公文書館 （撮影：尾木正己）
タイトルロゴデザイン	秦那実
カラー化技術提供	早稲田大学 石川博研究室
平和記念公園(爆心地) 街並み復元図提供	中国新聞

アプリ名称：「記憶の解凍」ARアプリ

URL: <https://wtnv-lab.github.io/rebootingMemories/>

【アプリ画面イメージ】



衛星画像・戦前地図の切り替え・個別資料の表示



広島平和記念公園におけるAR(拡張現実)表示